



◆No rain, No rainbow

雨が降らなければ虹は見えない

今年の最終号となります。新須磨病院職員向けに発行をはじめ、慈恵会グループの全職員へ配布を拡げ、知己友人、取引業者などで希望された方にも配信するようになり、16年が過ぎました。中には「押し売り配信」をしている方もいます。

配信先が多方面の方々となりそれなりに気を遣うこともあります、そのへんは割り切っています。かなり偏った内容のこともあり、不快な思いをされるときもあるかもしれませんが、ご容赦ください。

何度かお伝えしておりますように、この年輪は、岡山旭東病院の前院長土井先生が病院で発行されている「喜びの種」を真似して、16年前に始めたものです。土井先生は今もずっと発行を続けておられています。

コロナパンデミックから2年が過ぎました。対応が遅い遅いといわれたワクチン接種率も8割となり先進国の中でトップに躍り出ました。ワクチン接種、国民性、ファクターXの影響でしょうか、緊急事態宣言解除後も新規感染者は増えずかなり日常を取り戻してきました。

オミクロン株という新たな変異株が出現し、徐々に広がりを見せています。三回目のワクチン接種と、治療薬が普及で、何とか大きな波にならないことを期待しています。

世界中78億人あまりの誰もが経験したことのないパンデミックです。新型コロナに対する知見がない中、様々な情報が飛び交いそれに振りまわされました。人間とは弱いもので、知識がなければ主観的な感情に押し流されどうしても悲観的になります。そして、コロナに関する様々な知見が集積されてその実態が明らかになり、ワクチン接種が広まるにつれ不安感は和らいできました。

慈恵会グループは新須磨病院を中心に、大きな影響を受けました。それでも、医療と教育と介護という三本柱があったので、影響を最小限に食い止めることができています。このコロナ禍を乗り切るためには、各事業所の踏ん張り、慈恵会グループの連携をさらに深める必要があります。

「コロナは真実を暴くウイルスである」というルトワックの名言どおり、コロナによって、人も家族も会社も、今まで覆われていた色々な強み弱みが明確になったと思います。是非、コロナをきっかけにして、変えるものは変える、止めるものは止める、進めるものは進めるようにして、強靱な体質に変えていきましょう。

冬至が過ぎ、これから日はだんだん長くなってきます。いずれこのパンデミックは終息します。もうひと踏ん張りです。それまでは皆さん、一致団結してこのコロナ禍を乗り切りましょう。そして、コロナを制圧できたときには、マスクなしで大きな口を開けて大声で話し、お互い肩を組んで喜び合い、宴会も旅行も思う存分楽しみましょう。

雨が降らなければ虹は見えません。コロナという大雨が上がった後の青空にかかる大きな虹をみんなで見ることが楽しみにしています。

よいお年をお迎えください。



◆今週の院長予定

12月27日	月	8:00運営会議、14:00エリーネス役員会議、17:30経営改善会議			
12月28日	火	9:00外来、14:00手術、17:30業務改善委員会			
12月29日	水	松江には行きません			
12月30日	木	9:00~11:00来客、御用納め			
12月31日	金	休日			
1月1日	土	休日			